

みずほCustomer Desk Report 2022/08/23 号 (As of 2022/08/22)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	137.23 AUD/USD
TKY 9:00AM	137.06	1.0033	137.57	1.1818	0.6875
SYD-NY High	137.65	1.0050	137.90	1.1838	0.6929
SYD-NY Low	136.70	0.9927	136.40	1.1744	0.6863
NY 5:00 PM	137.53	0.9943	136.70	1.1768	0.6879

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,063.61	▲ 643.13	日本2年債	▲0.0800%	0.0100%
NASDAQ	12,381.57	▲ 323.64	日本10年債	0.2200%	0.0200%
S&P	4,137.99	▲ 90.49	米国2年債	3.3151%	0.0781%
日経平均	28,794.50	▲ 135.83	米国5年債	3.1638%	0.0687%
TOPIX	1,992.59	▲ 1.93	米国10年債	3.0229%	0.0490%
シカゴ日経先物	28,475.00	▲ 260.00	独10年債	1.2975%	0.0650%
ロンドンFT	7,533.79	▲ 16.58	英10年債	2.5115%	0.0990%
DAX	13,230.57	▲ 313.95	豪10年債	3.5470%	0.1340%
ハンセン指数	19,656.98	▲ 116.05	USDJPY 1M Vol	12.09%	0.50%
上海総合	3,277.79	19.72	USDJPY 3M Vol	11.88%	0.30%
NY金	1,748.40	▲ 14.50	USDJPY 6M Vol	11.26%	0.20%
WTI	90.36	▲ 0.08	USDJPY 1M 25RR	0.28%	Yen Put Over
CRB指数	292.83	0.81	EURJPY 3M Vol	12.54%	0.35%
ドルインデックス	109.05	0.88	EURJPY 6M Vol	12.18%	0.23%

東京	東京時間のドル円は137.06レベルでオープンし、直後に一時136.95まで売られる場面も見られたが、その後は米10年債利回りが一時3%にタッチするなど、米長期金利の上昇を背景にドル円は137.44まで高値を更新。買い一巡後は利益確定の売りに押され反落し、結局オープンと同水準の137.06レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は137.06レベルでオープンし、米ドルがやや買い戻された。値幅は約40銭となり限定的だったが、オープン直後に136.70円を付けた後は、徐々に上値を切り上げて、一時137円台まで回復した。137.03レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は137円付近でスタート。米長期金利が約1か月ぶりの3%台回復に迫る動きを眺めながら137.43まで上昇。米金利が低下に転じたほか、ユーロ円の下落が円買いを誘い、136.70まで反落。しかし、押し目ではしっかりと買われ、137.03レベルでNYオープン。朝方は米長期金利が再び上昇し、3%を明確に上抜けるとドル買いも加速し137.65まで高値を更新。買いが一巡後すると小幅反落するも、午後は137.50近辺で底堅く推移。米株は下げ幅を拡大し、ダウ平均は一時700ドル近く下落するも、リスクオフの円買いは特段観測されず。結局、137.53レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.00レベル半ばでスタート。方向感乏しい値動きでスタートしたが、欧州時間では天然ガス価格高騰による欧州景気後退懸念が燃り、先週に続いてユーロ売りが再開。早朝には一時的にパリティ割れする場面もあったが、1.0001レベルでNYオープン。1.0000レベルを回復したものの、反発する動きは弱く、高値1.0008を付けた後は、再びパリティを割り込み下値模索の展開となる。米金利上昇でドル買いもあいまって午後は2002年以來の安値となる0.9927まで下押し。その後、小幅に戻すも、0.9940近辺で上値重く推移し、結局、0.9943レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上野・大谷

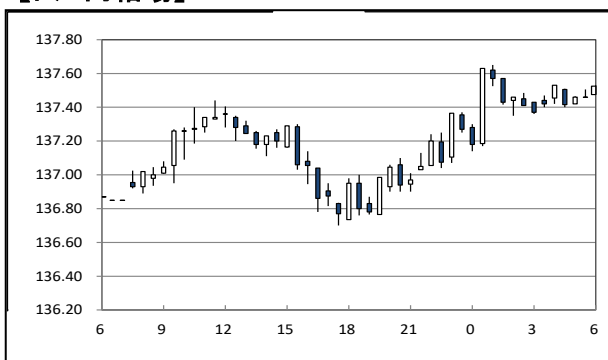
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月22日	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	7月 0.27	-0.25

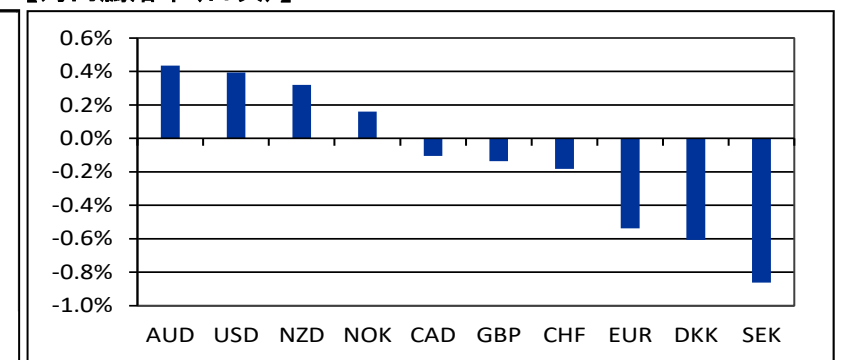
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月23日	16:30	独 製造業/サービス業/コンポジット PMI	8月 48.0/49.0/47.3	49.3/49.7/48.1
	17:00	欧 製造業/サービス業/コンポジット PMI	8月 49.0/50.5/49.0	49.8/51.2/49.9
	22:45	米 製造業/サービス業/コンポジット PMI	8月 51.8/49.8/-	52.2/47.3/47.7
	23:00	欧 消費者信頼感・速報	8月 -28	-27
	23:00	米 新築住宅販売件数	7月 575k	590k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	136.00-138.50	0.9850-1.0100	135.00-138.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は小幅に上昇。東京時間に、米10年債利回りが約1か月ぶりに3%をつける展開に小幅に値を上げる局面が見られたが、勢いは続かず。欧州時間にはユーロ円の下落を受けてドル円は一時136.70まで軟化。しかし、米時間にかけて再度米金利が上昇する動きにドル買いが強まり137.65まで上昇。米時間終盤にダウが下げ幅を広げるも、ドル円への影響は限定的で137.53レベルでクローズ。
本日のドル円は方向感の乏しい展開か。マーケットの注目はジャクソンホール会合に向かう。パウエル議長講演が26日であり、それまでは大きくポジションを傾けづらい状況が続くのではないかと考えられている。ドル円に関しては米金利の動きを眺めながら現状水準での浮沈に終始するのではないかと考えている。